

講義名	観光学原論			授業形態	
担当教員	西村 典芳	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	

主題と概要

観光産業は、社会的な要素や経済的な要素、また地理・歴史・文化をはじめ非常に幅広い分野を含んでいるため、多くの基礎知識が必要です。これらの知識の習得とともに、観光がなぜ重要であるといわれているのか、つまり観光の意義と役割を認識することに重点を置きます。
そのため、この授業では観光の基礎知識と観光関連産業の現状と将来、新しい観光のカチなど基本的な項目を幅広く学習します。
基本的には講義形式であるが、理解を深めるために、各地の観光振興の事例や観光ビジネスの実態を写真や動画などで紹介します。
観光の経済効果の意味や新しい観光のビジネスモデルを考えるため、対話型の講義も行ないます。

到達目標

- a. 知識・理解 ・観光の定義について説明できるようになる。
・観光の歴史的な変遷を具体的に説明できるようになる。
b. 思考・判断 ・観光事業の仕組みや経営理念を把握し理解することができるようになる。
・観光、国際観光あるいは観光関連産業を自分のキャリアと関連して考えることができるようになる。
c. 関心・意欲 ・観光産業に進む場合は、資格取得に挑戦することができるようになる。
d. 技能・技術 ・観光産業に進む場合は、資格取得に挑戦することができるようになる。
e. その他 ・学んだマネジメントやマーケティング手法を他の業種や業態に当てはめることができるようになる。

提出課題

- ・毎回、授業内容の課題について回答をリアクションペーパーを置いてもらいます。
- ・授業内容から、あるいは自分の考えを整理してまとめて提出してください。
- ・ポータルを必ず確認してください。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- ・課題のリアクションペーパーからの疑問や理解に対して、次週の授業のはじめに解説します。
- ・質問欄に書かれた質問に対する答えも回答します。

評価の基準

- ・毎回の課題、レポート提出状況40%、期末テスト（または期末レポート）40%とし、総合的に判断します。授業回数の3分の1（5回）以上課題、レポート提出がない場合は単位は取得できません。

履修にあたっての注意・助言他

- ・授業で学ぶ基本は重要ですが、観光に関する情報は日々変化しますので、常に新聞等で新しい観光の情報も入手してください。
- ・基本は教科書に沿って授業を進めます。

教科書

・入門観光学.	竹内正人ほか2名	ミネルヴァ書房	2800	9784623077632
---------	----------	---------	------	---------------

参考図書

その他

- ・必要に応じてプリントをポータルに添付します。
- ・参考文献・・・必要があれば紹介します。

授業計画

- 第1回 はじめに（授業計画、授業の目的、進め方など）観光とは
第2回 観光とは何か
第3回 観光行動と観光目的・心理
第4回 観光・旅行の歴史（前半）
第5回 観光・旅行の歴史（後半）
第6回 観光資源とは何か
第7回 「国内観光」と「国際観光」の現状と課題
第8回 観光・旅行による「経済効果」
第9回 「観光産業」（観光ビジネス）の概要
第10回 「旅行業」の概要&航空業界
第11回 航空業界
第12回 宿泊産業について・ホテル
第13回 宿泊産業について・旅館
第14回 レジャー施設・テーマパークの現状と課題
第15回 新しい旅行スタイル・進化する旅行者ニーズと観光創造

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・授業で学んだ内容のポイントを整理してまとめてください。2時間程度
- ・予習として、次回の授業範囲をよく読み内容を整理してください。2時間程度
- ・観光に関する情報は日々新しくなっていますので、教科書以外にも新聞やメディアのニュースを積極的に読んで入手してください。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この授業は観光についての理論的な学びと観光産業についての学びを含んでいる。国内観光だけでなく国際観光も変化し、特にインバウンドの目覚ましい伸びがあり、その点でも観光の変化が大きくなっています。この授業では、大きく4つの切り、観光学の基礎、観光産業論、観光政策論、応用観光論、で観光の定義や概念を理解しながら、急速に変わりつつある観光関連産業や旅行事業の変化の背景やそのマネジメントについて具体的に学ぶことができます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

課題提出に関してICTを活用することがあります。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
旅行会社の経営に26年間携わり、心と体の健康のための新しいツーリズム、「ウェルネスツーリズム」を研究し、地域の健康づくりを通じて活性化の手伝いをしています。

備考

- ・この科目は「観光の基礎を学ぶ」講義です。専門科目の基礎となりますので、理解に努めてください。また、観光関連産業への進路を考えている学生にとっては観光全体を学べるよい機会です。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバスの修正が発生する可能性があります。